

学習・教育到達目標の達成度評価基準

令和8年4月1日

教務主事 裁定

卒業認定に関する規則第2条第3号に基づき、次のとおり令和4年度生物応用化学科入学者用学習・教育到達目標の達成度評価基準を定める。

	学習・教育到達目標	評価基準
(A) 技術者としての姿勢	<視野> 自己と世界の間接関係を理解し地球規模で物事を眺める。	教育課程系統図で定めた<視野>に関連する外国語を含む人文・社会系科目から、必修及び選択科目を含め39単位以上を修得する。
	<技術者倫理> 生産により生じる環境と社会への影響を認識し責任を自覚する。	「倫理・社会」「技術者倫理入門」に加え、「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「創造工学」の単位を修得する。
	<意欲> 習得した知識・能力を超える問題に備えて、継続的・自律的に学習する。	「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「創造工学」の単位を修得する。
(B) 基礎・専門の知識とその応用力	<基礎> 数学、自然科学およびAI・データサイエンスに関する情報技術の知識を習得している。	教育課程系統図で定めた<基礎>に関連する自然科学および専門科目から、必修及び選択科目を含め59単位以上を修得する。
	<専門> 応用化学・生物工学に関する専門知識・実験技術を習得している。	教育課程系統図で定めた<専門>に関連する自然科学および専門科目から、必修及び選択科目を含め40単位以上を修得する。
	<展開> 習得した知識をもとに創造性を発揮し、限られた時間内で仕事を計画的に進めまとめることができる。	「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「創造工学」を修得する。
(C) コミュニケーション能力	<発表> 自らの取り組む課題に関する成果・問題点等を論理的に記述・伝達・討論できる。	「国語ⅠA」「国語ⅠB」「国語Ⅱ」「日本文学」「創造工学」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の単位を修得する。
	<英語> 英語による基本的なコミュニケーションができる。	教育課程系統図で定めた<英語>に関連する外国語を含む人文・社会系科目から、必修及び選択科目を含め16単位以上を修得する。